

令和4年2月7日

市民文教委員会

創造都市・文化振興課

サウンドデザインフェスティバル in 浜松 2021 について

1 趣旨

音に関する体験を通して、新たな発見や気づきを得ることにより、浜松市内の創造的人材の発掘・育成・交流を活性化させ、誰もが創造的な音創りを楽しめる国内唯一のまち「サウンドデザインシティはままつ」を発信し、「創造都市・浜松」を推進するため、「音と創る コミュニケーションのカタチ」をテーマに、「サウンドデザインフェスティバル in 浜松 2021」を開催しました。

2 事業概要

- (1) 日時：2021年（令和3年）12月11日（土）、12日（日）10:00～17:00（メイン会場）
- (2) 場所：（メイン会場）アクトシティ浜松・展示イベントホール
（サテライト会場）浜松科学館／浜松市楽器博物館
- (3) 対象：一般（家族層・若年層の誘客を重視）、学生
- (4) 主催：はままつ響きの創造プロジェクト実行委員会／浜松市
（構成）浜松市文化振興財団、静岡文化芸術大学、浜松・浜名湖ツーリズムビューロー、浜松商工会議所、浜松地域イノベーション推進機構、浜松国際交流協会、浜松市
- (5) コンセプト
 - ①誰もが音創りを楽しめる場の創出
 - ②リアルとリモートの共存（デュアルモード）
 - ③距離や空間を越えた創造的な音との出会い
 - ④創造的人材の発掘・育成・交流

3 事業費

46,976 千円

4 実績値

来場者数	5,895人	（目標：6,000人）※プレイベント除く、サテライト会場含む
オンライン参加	33,845回	（目標：4,000回）※動画再生回数（2021年12月21日現在）
合計	39,740人・回	（目標：10,000人・回）



5 「サウンドデザインフェスティバル in 浜松 2021」実施概要

(1) 多彩なイベント

○11月7日(日) 鴨江アートセンター

「おとときさんぽで REC&PLAY」

Team プププ 参加：12人

○11月13日(土) イオンモール浜松市野

「ピアノ解体ショー トーク&コンサート」

河合楽器製作所 参加：200人(2回計)

○11月14日(日) イオンモール浜松志都呂

「ともとのガラクタワークショップ」

山口とも 参加：60人(2回計)

○11月22日(月) 遠州鉄道新浜松駅

「遠州鉄道新浜松駅 発車メロディーお披露目式」

メロディー制作 向谷 実 ※当初は新浜松駅のみでの使用、現在は西鹿島駅でも使用

○11月27日(土) ヤマハ(株) イノベーションロード見学 参加：30人



(2) サテライト会場での関連企画

サテライト会場の浜松科学館、浜松市楽器博物館においても、音をテーマにしたサイエンスショーやミニワークショップ、企画展「テルミン誕生101年 電子楽器の過去と未来」等を実施。



(3) ステージイベント(一部オンライン配信)

1日目は、明和電機「ナンセンスマシーンコンサート」、山口とも「ゴミじゃない鳴らせば楽器」、ヤマハ「ディスクラビア リモートコンサート」、STUTS「ミニライブ」を実施。



2日目は、障害のある方も演奏に参加した、テルミン奏者の第一人者・竹内正実らによる「空間を操り、誰でも楽しめる不思議な楽器 テルミン&マトリョミン」、和田永「轟！家電楽器ライブ&トーク」、伝説的なリズムシンセサイザーマシン「TR-808」の開発者である菊本忠男と情報科学芸術大学院大学教授の小林茂によるトークショーを実施。



(4) 音創り・ものづくりを体感するワークショップ（一部オンライン配信）

14 団体・個人の地域内外のアーティスト、楽器メーカーによる「おもしろ楽器」、廃品を使った楽器づくりや音を体感する 17 種類のワークショップ、計 38 回開催。



(5) 新たな音の可能性を感じる作品展示

地域内外のアーティストによる「音」をテーマにした作品、市内の楽器メーカーによる楽器、音楽・楽器関連作品等、計 17 展示。



(6) 音で世界の人々をつなぐ特別企画

世界的デザイナー集団である「ペンタグラム」に、唯一日本人で所属するスズキユウリ氏の協力のもと、世界中で投稿された音と、それらが偶然に組み合わせることで生まれる「新たなサウンド」により、世界とオンライン上でつながることができる Web コンテンツ、「Global Sequencer (グローバルシーケンサー)」を制作。コロナ禍により自由な往来ができない中でも、音を通して世界中の人々がつながり、コミュニケーションを図るための手段・場を提供しました。また、ユネスコ創造都市ネットワーク (UCCN) を通じ、「創造都市が実施した文化を活用した革新的なコロナパンデミックへの対応」として、Global Sequencer を加盟 295 都市 (内、音楽分野は 59 都市) に発信、UCCN 連携事業として展開し、創造都市・浜松の「音の新たな可能性を追求したサウンドデザインの取り組み」を世界に示しました。

○2021 年 11 月 17 日：投稿モード公開

○2021 年 12 月 1 日：シーケンサーモード公開

○2022 年 1 月 14 日現在、世界 116 の国・地域から計 36,829 回アクセスされ、また、64 の国・地域から計 1,340 の音が投稿されている。

○Global Sequencer は、今後も、UCCN を通じた国際連携のツールや、創造的活動のツールとして活用していく。

